

部分係数法・H29道示対応

- H24道示対応製品の「箱式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応
- 胸壁、翼壁、豎壁(前壁、後壁、側壁、隔壁)部材の地震時温度変化荷重(D+TH+EQ)ケースの照査対応
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 「基礎の設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「深礎フレームの設計・3D配筋(部分係数法・H29道示対応)」、「震度算出(支承設計)(部分係数法・H29道示対応)」と連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能

Ver.3 改訂内容

2021年 3月 31日リリース

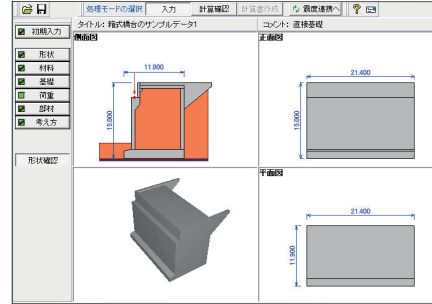
1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)に対応
2. 部材種類の選択の拡張
3. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力に対応

旧基準

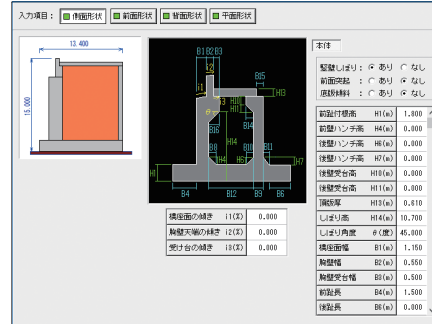
道示 IV (H24.3)、設計要領(H18.4)に基づいて、箱式橋台の設計計算を行うプログラムです。

- 底板剛体照査、底板のせん断補強鉄筋比の照査、底板の補強設計(直接基礎、杭基礎)、レベル2底板設計時、任意荷重を考慮が可能
- レベル2地震時の安全性判定が可能、杭基礎連動では2.5次元の設計が可能

▼メイン画面



▼形状入力



ラーメン式橋台の設計計算 (部分係数法・H29道示対応) Ver.3 / (旧基準) Ver.8

静定構造物であるラーメン式橋台の設計計算、耐震・補強設計プログラム

●H29道示対応
プログラム価格
¥297,000
(税抜¥270,000)
底版、翼壁拡張オプション
(H29道示対応)
¥33,000
(税抜¥30,000)

カスタマイズ版
¥279,400
(税抜¥254,000)
●旧基準
プログラム価格
¥218,680
(税抜¥198,800)

底版、翼壁拡張オプション
(旧基準)
¥23,100
(税抜¥21,000)

Windows 8.1/10/11 対応
3DA対応
電子納品 3D PDF

形状から自動的に骨組解析を行います。橋座の設計、踏掛版、突起の考慮、翼壁の設計、杭本体の設計などをサポートしています。

- 各部材毎に温度変化、乾燥収縮を考慮した設計検討可能
- 橋座の設計、踏掛版の設計、翼壁の設計
- 直接基礎：荷重の偏心を考慮した地盤の支持力検討、突起を考慮した滑動照査
- 置換基礎を設置し、滑動・地盤反力度を考慮可能

- 杭基礎：許容支持力算出、杭本体の設計、杭頭と底版の結合部の照査
- 「基礎の設計」、「深礎フレーム」、「震度算出(支承設計)」との連動可能

【翼壁拡張オプション】

- 翼壁の設計において、平板解析に対応

部分係数法・H29道示対応

- H24道示対応「ラーメン式橋台の設計計算(旧基準)」のデータ読み込みに対応
- ラーメン部材(前壁、後壁、頂版、桁受台、底版中央部)のほか、前後趾、胸壁、翼壁等の部材照査が可能
- ラーメン部材の隅角部では、端接合部の照査が可能
- 部分係数データをファイルに保存し、H29道路橋示方書対応製品間連携可能
- 橋台単独で永続変動作用時の杭基礎照査が可能
- 杭基礎製品との連動において、2次元解析及び2.5次元解析に対応

旧基準

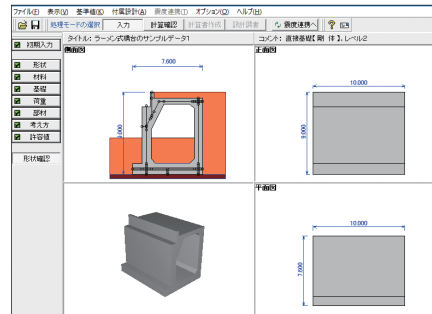
- 保有水平耐力法によるレベル2地震時の前趾・後趾・底版中央部照査
- 底版下面の段差フーチング・前後趾、底版中央部の厚さが違う形状サポート
- 底版を増厚・増幅する補強設計、底版剛体照査の検討可能

Ver.3 改訂内容

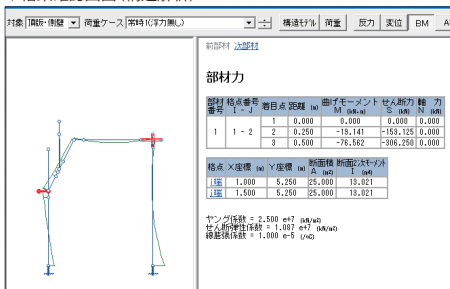
2021年 3月 31日リリース

1. 杭基礎設計便覧(令和2年9月)対応
2. 部材種類の選択(一般/気中/水中)の拡張
3. 震度算出-下部工-杭基礎製品の計算書統合出力対応
4. 受け台のコーベルとしての照査対応

▼メイン入力画面



▼結果確認画面(構造解析)



▼調査・解析係数、部材・構造係数、抵抗係数入力画面(H29)

項目	値	項目	値	項目	値
部材係数	1.00	構造係数	1.00	抵抗係数	1.00
部材係数	0.95	構造係数	0.95	抵抗係数	0.95
部材係数	1.00	構造係数	1.00	抵抗係数	1.00

▼3D表示

